

アントレプレナーシップ教育の可能性 ～大学生中心から高校生等へ～

科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課

① はじめに

欧米ではアントレプレナーシップが専攻や学位として広く認められていることに加えて、初等中等教育段階でも様々な形で取り入れられています。日本では、およそ10年前からアントレプレナーシップへの注目が増しており、これまで、文部科学省でも主に大学生を対象とした施策を推進してきました。今後は、高校生以下の子どもたちにも拡大していく方針です。

この方針を踏まえ、本稿では、アントレプレナーシップの考え方や関連施策の今後の方向性について紹介します。

アントレプレナーシップ教育=起業を目的とした教育と認識されがちですが、実はそうではありません。

文部科学省では、アントレプレナーシップを「急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出していく精神」と捉え、自ら社会課題を見つけ、課題解決に向かってチャレンジしたり、他者との協働により解決策を探求したりすることができる知識・能力・態度を身に付ける教育をアントレプレナーシップ教育（以下、「アントレ教育」）と位置付けてきました。「起業家教育」と書く場合もありますが、趣旨は同じです。したがって、将来は起業に限らず、例えば、企業で新規事業の立ち上げや、NPOなどのスモールビジネスを行ったり、多様な形で社会や地域特有の課題解決等に貢献することが期待されます。

アントレ教育の全体像は、図1のとおりです。

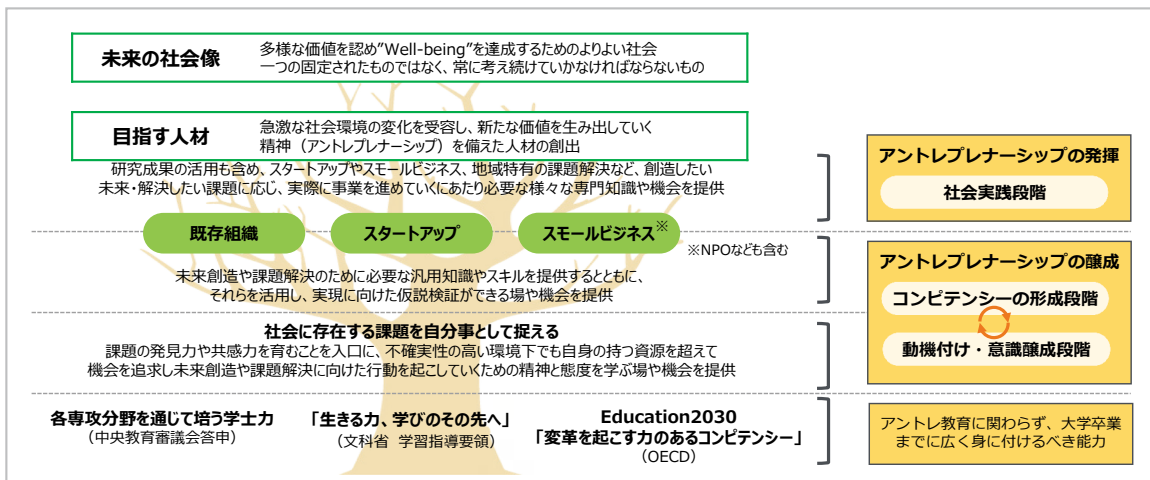
まず、土台として、現行の学習指導要領等において示されている学校段階に応じて大学卒業までに広く身に付けるべき力があります。

その上で、複雑化する社会の課題を見つけ、他者と協働して課題解決に向けて「まずはやってみる」といった、行動を起こしていくための精神と態度を学ぶ「アントレプレナーシップの醸成」の段階と、実際に取組を進めてい

② アントレプレナーシップとは？

「アントレプレナーシップ (entrepreneurship)」は、日本語では一般的に「起業家精神」と訳されるため、

〈図1〉アントレプレナーシップ教育の全体像



文部科学省「持続的・発展的なアントレプレナーシップ教育の実現に向けた教育ネットワークや基盤的教育プログラム等のプラットフォーム形成に係る調査・分析」調査報告書を基に作成

くにあたり必要な専門知識を身に付け、現実社会での実践に挑戦する「アントレプレナーシップの発揮」の段階の2段階に整理しています。

このように、アントレ教育は、起業のための専門知識だけでなく、社会が包含する様々な課題に対し、自ら主体的に考え、行動するようなマインド醸成も含む幅広い概念です。社会とのかかわりの中で未来を切り拓く力を育むことは主体的・対話的で深い学びの充実にも資するものであり、これからの教育と同じ方向性にあると考えます。

3

文部科学省におけるアントレ教育の変遷

(1) 研究者～大学生を対象としたプログラム

文部科学省では、これまで、研究者や大学生を対象とするアントレ教育の支援を進めてきました(図2)。

〈図2〉これまでのアントレプレナーシップ教育の取組

2014～2016年度	2017～2021年度	2021年度～
グローバルアントレプレナー育成促進事業 (EDGE)	次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT)	スタートアップ・エコシステム形成支援 (START)
起業に挑戦する人材や産業界でイノベーションを起こす人材の育成プログラムを開発・実施	学生等によるアイデア創出にとどまらず、実際に起業まで行える実践プログラムの構築、アントレプレナー育成に、必須の新たなネットワーク構築等を通じて我が国全体のアントレプレナーシップ醸成、ベンチャー創出力の強化	スタートアップ・エコシステム拠点都市において、自治体・産業界と連携し、大学等における実践的なアントレプレナーシップ教育とGAPファンド及び起業支援体制を構築。成長性のある大学等発ベンチャー創出力を強化
若手研究者 大学院生等	若手研究者・大学院生・ 学部生・社会人	若手研究者・大学院生・ 学部生・社会人等
支援規模 約6千万円/大学	支援規模 約8千万円/コンソーシアム	支援規模 約1億円/プラットフォーム ※GAPファンド費用等も含む
13大学	5コンソーシアム 24大学	7プラットフォーム 94大学等

最近では、2020年に内閣府が選定した「スタートアップ・エコシステム拠点都市」(以下、「拠点都市」)の自治体や産業界等とも連携をはかりながら、大学等における実践的な教育のほか、産官学金のネットワークの強化、GAPファンド(研究成果と事業化との間のギャップを埋めるための資金)等の取組を大学発新産業創出プログラム(START)事業(2021年度～)を通じて一体的に支援しています。

全国の大学等に対して行ったアントレ教育の実施率と受

講率の調査結果は、図3のとおりです。実施率、受講率ともに増加傾向にありますが、受講率は依然として低く、より一層の普及を目指して施策を進めていく方針です。

〈図3〉アントレプレナーシップ教育の実施状況調査

アントレプレナーシップ教育の実施状況	2020年度調査 回答: 588校 (59%) 大学・短期大学	2022年度調査 回答: 868 (80%) 大学・短期大学・高等専門学校
実施率	27.0% (159校)	33.2% (289校)
受講率 全国の学生数約300万人 における受講学生率	1.0% (31,131名)	3.2% (97,194名)

文部科学省: 全国大学等アントレプレナーシップ教育の実施状況に関する調査

(2) 高校生等へ対象を拡大

社会が急速に変化し、様々な課題に直面する今、それらを解決し、新たな社会を築いていくために、早い段階からイノベーションや新たな価値創出に前向きな意識を持つことが重要です。

アントレ教育をより若い世代に広げていくために、政府は、高校生等を対象にした起業家教育の推進を方針として示しました(新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(2022年6月閣議決定)、スタートアップ育成5か年計画(2022年11月新しい資本主義実現会議決定))。

4

子どもたちへのアントレ教育

(1) EDGE-PRIME Initiative

今後、高校生等へのアントレ教育を推進していくにあたり、中核となる事業が「EDGE-PRIME Initiative ※」です。2022年度第2次補正予算により10億円が措置されており、拠点都市の大学が、これまでのアントレ教育の見聞や教育研究力を活かし、高校生等を対象としたアントレ教育プログラムを、6月以降順次実施予定です。また、グローバルサイエンスキャンパス、スーパーサイエンスハイスクールなどの先端的な教育や、学校現場に起業家を派遣する中小企業基盤整備機構の起業家教育事業とも連携していく予定です。

既に、拠点都市による高校生向けプログラムや自治体による子ども向けビジネスプランコンテストの実施、総合的な探究の時間やキャリア教育を活用した取組など、幅

広い活動が見られています。

※ EDGE-PRIME Initiative の概念図

<https://www.mext.go.jp/>

content/20230124-000027169_1.pdf



(2) 起業家教育推進大使を任命

2023年1月、高校生等のアントレ教育推進の機運を高めるべく、推進役となる「起業家教育推進大使」（以下、「推進大使」）10名を文部科学大臣から任命しました。



起業家教育推進大使任命式（2023年1月撮影）

推進大使には、全国的な行事での講演、周りの起業家の方々へのアントレ教育への協力の声かけ、SNS等での発信等に協力いただきます。登壇可能なイベントには一定の要件がありますが、教育機関の皆様にも是非積極的にご活用いただければと思います。詳細は下記のWEBサイトをご覧ください。

▼起業家教育推進大使の活動はこちら

https://www.mext.go.jp/a_menu/

shinkou/sangaku/mext_00009.html



3月17日、SHIBUYA QWSで行われた早稲田大学主催「高校生アントレプレナーシップシンポジウム」では、出雲充 推進大使（日本経済団体連合会 審議委員会副議長・スタートアップ委員長／株式会社ユーグレナ 代表取締役社長）が講演を行いました。

6月3日（土）の午後には、複数の推進大使を招いて「EDGE-PRIME Initiative」キックオフイベントを開催し、様々な形でアントレ教育に取り組む実践者らによるパネルディスカッションや高校生らによるピッチなどを実施予定です。大学、自治体、産業界、学校現場等の関係

者の皆様に広くご参加頂き、知見を共有するとともにネットワーク構築の機会となれば幸いです。キックオフイベントの詳細は、下記のWEBサイトをご覧ください。

▼「EDGE-PRIME Initiative」キックオフイベント

https://www.mext.go.jp/a_menu/

kagaku/platform/index_00008.htm



5

おわりに

社会の変化が加速し予測困難さが増すこれからの時代、社会とのかかわりの中で、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動する力を育むアントレ教育は、子どもたちにとって、それぞれが思い描く幸せを実現するためにますます重要な役割を果たすものです。

2015年に、経済産業省と協力して、起業家教育の考え方や指導事例についてとりまとめた「起業家教育のススメ（指導事例集）」が作成されています。事例集では、起業家教育によって育まれる資質・能力、多数の取組事例に加えて、実施して「良かった点」、導入時の課題と対策などが掲載されており、これから取組を始めたい場合、更に改善を検討したい場合など様々な場面で参考にしていただける資料です。是非、ご活用いただければと思います。

▼起業家教育のススメ（指導事例集）

<https://www.meti.go.jp/policy/>

<newbusiness/downloadfiles/jireisyu.pdf>



既に複数の学校や教育委員会等から、学校でのアントレ教育の実施事例をご紹介いただいているほか、今後取り入れていきたいとご相談いただく機会が増えています。また、自治体、民間企業やNPO法人等が実施するような学校外のプログラムも多く実施されており、地域の特性やローカルコミュニティの絆の強さを活かすなど、それぞれの良さがあります。

文部科学省としては、学校内外いずれの取組も、互いの特色を活かし合えるよう積極的に応援し、子どもたちがチャレンジを身近に感じ、積極的に行動することの楽しさや大切さを感じられる機会が増えることを目指していきます。